

2月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	7,692	105	9,834	340	80	254	-	-	静岡、長崎、和歌山、熊本、愛媛、徳島産中心の入荷となる。静岡は主力品種「青島」は2月下旬までの入荷、肥大状況良く2Lサイズが中心となる。長崎は「青島」中心の出荷で肥大状況は良好。全体の入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
りんご類	6,309	85	6,708	232	140	231	35	0.6	青森産が殆んどを占め、山形、岩手、秋田産も入荷する。青森のふじの産地在庫は前年の60～70%と大幅に少なくなっている。年明けの価格は前年の130～140%程度と高値安定で推移。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	4,756	100	4,488	1,068	108	1,114	-	-	栃木、福岡、茨城、佐賀、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温のため着色が進まず、ダラダラとした入荷ペースが続く。福岡は曇天と低温のため着色が進まず出荷量が伸び悩んでいる状況。全体の入荷量は前年並、価格は前年をかなり上回る見込み。
メロン類	333	90	384	973	106	1,025	-	-	静岡、熊本、宮崎、高知産が中心となる。品種はアールスメロンなど。静岡は燃料代が高く栽培を休む生産者もいるため例年より入荷量は下回り、サイズは6玉8kg台中心の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。